

倫 理 綱 領

総合福祉施設 あけぼの園

前 文

私たちあけぼの園の職員は「人権」「自己実現」「地域での生活を支える」ことを念頭におき、利用者一人ひとりの人格を尊重し、豊かな人生を自己実現できるよう支援することを誓います。そのために、私たちは確固たる倫理観や専門的な知識を培うよう自己研鑽に努め、ノーマライゼーションの理念に基き、援助者としての意識確立のため相互に啓発し合います。そして、どのような重い障害を持った方でも、明るく楽しく元気よく幸福感に満ちた毎日を送れるような支援を行うことを心がけます。

主 文

1. 生命の尊厳

人間としての尊厳を大切にし、かけがえのない存在として尊重します。一人ひとりが健康で豊かな生活を送ることができるよう支援を行います。

2. 個人の尊重

ひとりの人間としての個性、主体性、可能性を尊重します。一人ひとりの気持ちを大切にし、選択の幅が広がるよう努めます。

3. 人権の擁護

基本的人権を尊重し、一方的な強要や制限を行いません。また、いかなる場面においても自己決定、自己実現できるよう支援を行います。

4. 社会への参加

地域にある社会資源全般を利用できる機会を確保し、地域で暮らす市民の一員として社会参加できるような支援を行います。

5. 専門的な支援

自らの専門的役割と使命を自覚し、責任を持って職務を遂行します。一人ひとりの個性や特性を深くとらえ、人として尊厳をもってその人らしい生活が送れるような支援を行います。

条 文

1. 秘密保持

職務上において知り得た一切の個人情報、私的情報の秘密を保持し、信頼関係を構築します。
あらゆる生活場面においてプライバシーが守られるよう配慮します。

2. 非審判的な態度

利用者とは常に公平に接し、抱えている問題を表面のみで非難したり、自らの価値観を押しつける事を行いません。

3. 個別化

利用者一人ひとりの個性や特質、生活歴を考慮し、独自の存在であることを理解した上で、固有の問題とニーズを的確にとらえた支援を行います。

4. 受容

個人が抱える種々の問題があるがままに受け止める姿勢の上で、そこから現実的な解決を導いていけるような促しを行います。

5. 自制した情緒関与

常に自分の感情を自覚し、決して高圧的な言動とならないよう注意します。支援する際は、的確で冷静な判断の上で慎重に行います。

6. 情報の開示

利用者からの不満や苦情にはどんな些細な事であっても耳を傾け、速やかに対応します。意思疎通の困難な方においても訴えを読み取り、推測することを心がけます。施設の基本方針や事業計画、支援計画は随時説明を行い同意を得た上で作成し、それを提示します。

7. 禁止事項

いかなる場合においても体罰を行いません。また障害の程度、状態、能力、性、年齢等で差別したり、日頃の行動からその人に対して先入観をもって接するようなことを行いません。利用者の訴えやしぐさを一方的な決め付けで判断したり、命令口調や大声で叱責しません。